

ChattyInfty_AITalk3 から AITalk4 版移行に伴う改良点

AITalk4 では AITalk3 と比べて、登録用語数が約 1.5 倍になって、日本語解析能力が向上しているほか、会話文などの読みの自然さも向上しています。

従来、句点「、」でハイライト区切りをすると、その次の文章の読み始めが不自然になることがありましたが、そうした点も違和感が少なくなり改善が見られます。

また、文末の読みも AITalk3 では「平叙文」と「疑問文」の 2 種類しかなく、疑問文では不自然に調子が上がりすぎる傾向がありましたが、AITalk4 では、平叙文の他に

文末に？を付ける --- 疑問文

文末に△を付ける --- 末尾を少し上げる（確認などの）

文末に▽を付ける --- 末尾を少し下げる（多くの場合平叙文はこれと同じ）

文末に□を付ける --- 末尾を下げる（体言止めなど）

の 4 種類の制御が可能になります。（この制御は「ヨミ設定」画面で行って下さい。）

【注意】

1. 文末の制御は文章の終わりでのみ有効です。△や□などの制御記号の後には句点「。」以外は入れないようにして下さい。閉じ括弧や””などで終わる文章の場合は、それらの記号も含めて範囲指定し、読み指定で文末制御を行って下さい。
2. 何も指定しない場合、AITalk が適宜判断して、上昇調で終わる場合もあります。そういう場合は、▽や□で下げることが出来ます。

以上